

聖霊とともに 意味を見出せ

「苦しみをどう苦しむか HS に満たされる」

使徒6:8~15ヨハネ1:9~13

■ 變遷・変貌

教会の今年のテーマは『変遷』と『変貌』。神様がどうして私たちに週に1回こうして礼拝させようとするのはどうしてでしょうか。忙しい日々の生活の中であって、もう一度心を静めて、思っていること、行動していることが、神様の御心に適っていることなのか。振り返ってみる必要があるのです。神様の被造物は本来の姿からずれていったとしても、呻きながらも元の姿に戻ろうとするものです。しかし、私たち人間だけがずれたらずれたままになってしまいます。だから毎週こうして神様の前に出る必要があるのです。私たちは外側を変えようとしません。それは変わらないといけない、ということは分かっていることです。しかし、礼拝の座る席。毎回同じような位置に座っていませんか。人は自分が安定できる場所を決めたいものです。変わりたいと言いつつも、変化を嫌い、誰かに何か指摘されることを嫌います。変らないといけないと分かっているても不安を感じるのです。しかし、聖書はそうではありません。あなたがもし神様と繋がっているなら、たとえだれかに何かをいわれても関係ないのです。

神様はあなたがどんな思いで神様の前に出てくるのか。を見ておられます。どうぞ人生を変えてください。という強い思いで、神様の前に出てくるのか、私の思いが、ずれているので元に戻して下さい。本当に私を変えてください。目のずれを直してくださいと、真剣に求めてくるのかを神様は見ておられます。神様を求める気持ちは、私たちの心の内側から出てくるはずで、あなたがもし、苦しみがあるなら、その苦しみとどう向きあうかで人生の意味が分かるのです。アーチ橋という橋があります。この橋は台形のレンガを置いてい上に負荷がかかることでより強度を増すのです。人生はこのようなもので、神様は一人であることではなく、どんなに負荷がかかっても立ち遂げるように苦しみの中でもどう苦しむかを教えてくれています。神は真実な方ですから、試練とともに脱出の道をそなえていてくださるのです。苦しみとどう向き合うかで神様との向きあいが変わってくるのです。

「ヨハ 16:33」『わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。』

■ 使徒 6:8-15

ギリシャ語を話すユダヤ人、ヘブル語を話すユダヤ人、ユダヤ人と捕囚先で奴隷として扱われたリベルテンの会堂の人たち。それぞれの価値観の違いによって苦情が出て、食べ物の中で論争になり、使徒たちのところに持ってくるようになっていきました。私たちは自分の思う通りにされないと腹が立つ、正しいことを言われても腹を立ててしまいます。これを調整、管理をするために7人の人がたてられました。その一人、ステパノは使徒たちに与えられた特別な力を持ち、恵と力に満ちていました。議会で旧約聖書の歴史を話しました。しかし、ユダヤ人たちは自分たちが否定されたと思い、ステパノに腹を立て石打ちにして、殺してしまったのです。人は自分が正しいと思うから、自分たちの主張が通らないと腹を立ててしまいます。神様の働きが行われる時、大きな変化が起こります。神殿で祈

りがささげられていたのがこの時からシナゴグで行われるようになりました。ベテロを中心に福音を述べ伝えていましたが、この時からパウロにかわって異邦人へ福音が伝わっていきました。使徒7章のステパノの死から大きな変化が起こっていったのです

■ 人生の苦しみをいかに苦しむのか!?

聖霊様は変化をもたらす。(ルカ 12:49) わたしが来たのは、地に火を投げ込むためです。だから、その火が燃えていたら、どんなに願っていることでしょうか。12:50 しかし、わたしには受けるバプテスマがあります。それが成し遂げられるまでは、どんなに苦しむことでしょうか。12:51 あなたがたは、地に平和を与えるためにわたしに来たと思っているのですか。そうではありません。あなたがたに言いますが、むしろ、分裂です。

・彼の目的

「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」 マルコ 2:17

回復は罪を知ることから起こる。

傷が私たちを苦しめるのではなく、心の空洞(意味が失われること)が私たちに苦しみをもちます。(ビクトール フランクル:「夜と霧」) 人生から何をあたえてもらうかではなく、人生に何を与えることができるか。

苦しむ方が間違っていないか? 「神よ。なぜ私は苦しんでいるのですか?」意味を見出す。嘆くのではなく

私達の痛みや傷を通して生きる意味を与える。

さいごに

- ・ 生きている意味を神様に聴きましょう。
- 「空いた穴」(人生の失望の穴)に今何を入れていますか?
- 今自分が任されていることの中で苦難や問題がありますか?なぜ。その機会が与えられているかを神様に聴く祈りをしましょう。
- 人生から何を与えてもらうかではなく、人生に何を与えることができるか?
- 苦しむ方が間違っていないか?
- (「神よ。なぜ私は苦しんでいるのですか?」意味を見出す。嘆くのではない)
- 神は私達の痛みや傷を通して生きる意味を与える。
- ・ 「悪」の中で「善」を選ぶことができる。愛を選び祈ることができるように
- 神の御言葉が私達に力を与えられるように。頑なになることと関係があるかもしれません。探りましょう。
- ・ 暗闇の中で私達は光を放つことができる。神様の栄光が顕される人生となるように信じて祈りましょう。
- ・ (1コリ 1:18)
- 十字架のことは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私達には、神の力です。
- 繰り返している愚かなことをしない決断をしましょう。
- ・ 聖霊様によって自分自身が変えられていくことを願い、祈り求めましょう。

(要約者:澤口 明子)

(2024年6月2日)